

協会けんぽ2025（令和7）年度決算（見込み）のお知らせ

2025年度の決算（見込み）の概要

2025年度の決算は収入が12兆3,406億円、支出が11兆6,611億円、収支差は前年度から209億円増加し、6,795億円となりました。

保険料収入は、賃上げや被保険者数の増加により前年度比4,057億円の増加となりました。保険給付費は加入者1人当たり保険給付費が増加した影響で前年度比2,818億円の増加となっています。また、拠出金等は後期高齢者支援金が増加した影響で前年度比1,634億円の増加となりました。

※詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

■ 2025年度決算（見込み） | 医療分（単位：億円）

収 入	保険料収入	110,546 (+4,057)
	国庫補助等	12,383 (+693)
	そ の 他	477 (+132)
	計	123,406 (+4,881)

支 出	保険給付費	75,369 (+2,818)
	拠 出 金 等	37,829 (+1,634)
	そ の 他	3,413 (+220)
	計	116,611 (+4,672)

単年度収支差	6,795 (+209)
--------	--------------

※（ ）内は、対前年度比

※支出の「その他」は下図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計

保険給付費 64.6%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

高齢者医療への
拠出金等 32.4%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。

健診・保健指導経費 1.5%

協会事務費 1.0%

その他の支出 0.5%

支出
約11.7兆円

保険料収入 89.6%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

収入
約12.3兆円

国からの補助金 10.0%

その他の収入 0.4%

Q. 2025年度の決算は黒字でしたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

- A. 協会けんぽの財政は、当面、賃上げ等により保険料の増加が見込まれるものの、
- 現在の不安定な世界情勢が我が国の経済社会に及ぼす影響が不透明であり、これまでのような保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測が難しいこと
 - 協会けんぽ加入者の平均年齢の上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれること
 - 団塊の世代がすべて後期高齢者になったことにより後期高齢者支援金の中長期的に高い負担額のまま推移することが見込まれること
- 等に留意が必要と考えています。

また、医療費については、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化に対応するため、2026（令和8）年度診療報酬改定において、診療報酬（本体部分）の改定率が3.09%（2026年度：+2.41%、2027年度：+3.77%）と高い伸び率とされ、2026年6月以降の医療費に反映されることなどから、今後の動向を注視する必要があると考えています。

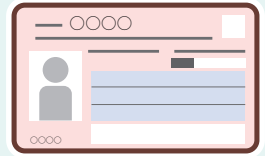
※2026年度は平均保険料率を10.0%から9.9%に引き下げたほか、国から交付される国庫補助が2026年度から3年間減額されることとなっています。

令和7年度における千葉支部の主な取組

医療費適正化や健康保持・増進、加入者のサービス向上に向けた取組を一部紹介します。

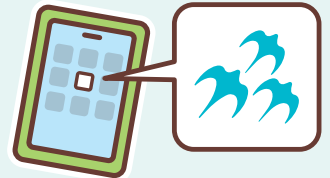
マイナ保険証の 円滑な移行と 利用促進

- 令和7年12月1日に従来の健康保険証の有効期限が終了したことに伴い、**マイナ保険証の利用促進**について、支部広報媒体や地元新聞紙にて、広く周知しました。



けんぽアプリ・ 電子申請サービス スタート

- 令和8年1月に**けんぽアプリ・電子申請サービスがスタート**し、研修会や各種広報媒体、経済団体等の広報誌にて、登録を促す広報を行いました。



医療費の お知らせの 送付

- ご自身の医療費について確認していただき、日ごろの健康管理について考えるきっかけとしていただくため、加入者の皆様へ「**医療費のお知らせ**」を送付しました。



健診・ 特定保健指導・ 重症化予防対策

- 生活習慣病の早期発見のため、**健診の受診**を促進しました。
- 健診結果から、生活習慣の改善が必要な方に対する**健康サポート**(特定保健指導)や、医療機関への治療が早期に必要な方に対する**受診勧奨**を行いました。
- 健康リスク保有率が高い業界団体と連携し、会員事業所へ健診・特定保健指導等の受診勧奨を行いました。



コラボヘルス の推進

- 事業所と協会けんぽが**協働・連携 (コラボヘルス)**して、健康宣言事業を行っています。
- 宣言事業所数の拡大や宣言を行った事業所へのフォローアップを実施したほか、商工会議所等と連携し健康経営セミナーを開催しました。



ジェネリック 医薬品の 使用促進

- 医療費の自己負担や保険料負担の軽減のため、千葉県及び千葉県薬剤師会等と連名で、電車の中吊り広告を実施し**ジェネリック医薬品の使用を促進**しました。
- 調剤薬局に向けてジェネリック医薬品使用割合通知を送付し、使用促進の働きかけを実施しました。

